

中国経済構造変化が機械産業へ及ぼす影響に関する調査研究

(報告書の概要)

- 08年3月から胡錦濤政権は2期目に入り、これからの5年間どのような発展戦略を以って現在の経済成長を持続していくか、注目を集めている。現在、中国経済は二桁成長を続けているが、格差の拡大、社会保障制度の未整備、環境破壊など経済成長を制約する諸要因が急浮上している。中国経済は持続可能な成長を続けていくためには、構造上の問題を解決しなければならず、企業経営の効率化も求められている。
- 中国企業の資金調達の実態は十分に解明されておらず、商業銀行の信用創造は政府部門の影響を受け、企業の生産性よりも政府の意思や企業の所有制をもとに信用創造を行っているようである。1994年の金融制度改革以降、国有銀行の経営は商業銀行化しているといわれているが、その実態の解明を急ぐ必要がある。
- 中国にとって持続可能な経済成長を実現するためには、産業基盤を整備する必要があり、そのために、地場企業の研究・開発を強化し、中国発の技術を開発する必要がある。それを実現するためには、知的財産権の保護を強化しなければならない。現状において、それは十分に行われているとはいえない。
- 今後の経済発展と制度改革を展望すれば、五輪と万博の特需に頼るべきではなく、制度改革と有効な経済政策の実施によって内需を中心とする自力成長を目指すべきである。

(報告書の主要構成)

- 資金循環からみた中国経済の内実
- WTO加盟と市場開放のインパクト
- サステナブルな経済成長を目指すポリシーミックス
- 産業発展のための地域開発戦略と企業改革
- 中国におけるR&D戦略と日系企業への示唆